

免許状教科	中学校 1 種（社会）・高等学校 1 種（地理歴史・公民・商業）			
科目名	<b>教職入門</b>	科目分類	教職科目	
			経済学科	■必修 □選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Introduction to Teaching Profession	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年	
ふりがな	いちほら みつまさ	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中	
担当者名	市原光匡	修得単位	2 単位	
		実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	現代日本における学校制度や教職の意義を確認する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 我が国における今日の学校教育や教職の社会的意義を理解し、説明できること。</li> <li>2. 教育の動向を踏まえ、今日の教員に求められる役割や資質能力を理解し、説明できること。</li> <li>3. 教員の職務内容の全体像や教員に課せられる服務上・身分上の義務を理解し、説明できること。</li> <li>4. 学校の担う役割が拡大・多様化する中で、学校が内外の専門家等と連携・分担して対応する必要性について理解し、説明できること。</li> </ol>			
授業概要	現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。			
授業計画				
第1回	ガイダンス			
第2回	教職の意義			
第3回	学校教育の現状と課題			
第4回	日本の学校制度			
第5回	学校の組織と教員			
第6回	教育行政と教員			
第7回	教員の養成・採用			
第8回	教員の待遇・ライフサイクル			
第9回	教員の服務と職務			
第10回	学級経営と学習指導			
第11回	生徒指導と進路指導			
第12回	諸問題への対応・「チーム学校」の考え方			
第13回	特別支援教育			
第14回	研修制度と教員に求められる能力			
第15回	目指すべき教員像			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	ほとんどの学生にとっては最初に履修する教職課程の科目になる。まず、自分のこれまでの学校生活をふりかえりつつ、授業各回のテーマについてイメージができる状態にしておくこと（1.5時間程度）。授業では、教職課程を通して問われる重要なことがらが多く登場するが、他の科目にも関わってくるのでその都度確認しておくこと（1.5時間程度）。			
履修条件 受講のルール	特になし			
テキスト	テキストは特に指定しない。なお、授業のレジュメ（要約）のプリントを配布する。			
参考文献・資料	佐藤晴雄『教職概論（第5次改訂版）』学陽書房，2018。その他必要に応じて授業中に適宜指示する。			
成績評価の方法	平常点 30%、定期試験 70%の比率で評価する。			

	※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	火曜日 9:00～10:30・金曜日 13:00～14:30
成績評価の基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
学生へのメッセージ	参加者が議論する機会を複数設けるので、積極的な参加を期待する。また、わからないことは担当教員に確認するよう心がけること。